

要望書

令和6年2月6日



公益社団法人北海道宅地建物取引業協会

苫小牧支部

令和6年2月6日

苫小牧市長
岩倉博文殿

苫小牧市表町5丁目10番7号
公益社団法人
北海道宅地建物取引業協会苫小牧支部
支部長 渡邊武志

拝啓 平素は当協会に対しまして特段のご配慮を賜り、心よりお礼申し上げます。

毎年、貴殿に対し当協会より要望事項を取りまとめ要請のところ、都度真摯に受け止めていただき、各部局において検討のうえご回答いただいておりますことを重ねてお礼申し上げます。

本年度は、当協会より下記事項につきまして要望させていただきます。

何卒、ご検討下さいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

① 空家等解体補助金制度について

昨年、空き家等解体補助金制度について、対象者の条件の緩和・対象空家の範囲の拡大・予定件数を増加等の制度見直しの要望に対し、市民生活部市民生活課より、令和5年度に改定予定の「空家等対策計」の策定作業において、現行制度の検証を行う中で補助要件の見直しの必要性を判断していきたいとの回答を頂戴いたしました。

当協会といたしましては、やはり現行制度のままでは空き家の放置問題解消および、住宅地の景観の改善には不十分であると考えられるため、引き続き補助金制度の一層の拡充と見直しを要望いたします。

② 相続未登記等の対策について

不動産の相続登記が適切に行われずに放置される問題につきまして、継続して要望いたします。

昨年度は本要望に対して財政部資産税課より、固定資産税納税通知書に相続登記義務化のお知らせ文章の同封、窓口での手続き時にはリーフレットを用いて相続登記の説明や相談先の案内を行っていること、手続きを窓口で行わない方に対しては、

市から送付する文章に案内文章を同封することを検討していることなど、今後も更なる周知に努めていきたいとの回答を頂戴いたしました。

今後も法制度前に相続未登記状態になった不動産は、取り残されたままになると思われる。引き続き対策をお願いしますとともに、空き家となり放置されることを防ぐためにも、相続登記後の不動産の管理や処分について、相続人に対し積極的な啓蒙活動に取り組んでくださいますようお願いいたします。

③ ラピダス関連情報の共有について

半導体メーカー「ラピダス」が千歳市に進出することが決定し、工場建設工事も着々と進んでおります。

北海道経済活性化の起爆剤となりうるこの事業は、北海道全体の経済波及効果が量産開始10年で約19兆円にのぼるという試算が発表されており、苫小牧市におかれましても様々な情報収集、関連企業の誘致等に尽力されていることと存じます。

不動産業界といたしましても、この進出は地域を変える大きな力になると捉えておりますが、未だかつてない規模の事業のため、漠然とした形でしか見えていないという現状もあります。

当協会といたしましては、会員企業に様々な情報を発信することで、不動産の流通促進、住宅着工件数の増加など、不動産業界への波及効果ももたらしたいと考えております。

苫小牧市におかれましては、さらなる情報収集や企業誘致を行っていただくことはもちろん、進捗状況や今後の展望、問題点などを当協会と定期的に情報交換していただくなど、ともに発展していける環境を整備していただけるようお願いいたします。

以 上